



よりそい隊 梅田 良子氏 作

サロン・いきいき百歳体操代表者交流会を開催しました

令和7年11月21日、安堵町福祉保健センターにおいて、町内で実施されているサロン7か所といきいき百歳体操15か所の代表者交流会を実施しました。それぞれの活動の情報交換や困りごとなど、活発な意見交換がなされました。

また、今後の課題等についても共に語り合うことができ、有意義な時間となりました。



気にかけて合う
仲間づくり



みんなで記念写真
はい、チーズ!!

新年のごあいさつ



社会福祉法人

安堵町社会福祉協議会

会長 西本 安博

新年、明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、当社会福祉協議会の運営にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

また、赤い羽根の共同募金、日赤募金、寄付金等につきましても、心温まるご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

近年、全国各地で頻発する地震や豪雨などの自然災害に対し、私たちの町でも「いざという時」に備える体制づくりが欠かせません。当社会福祉協議会では、有事の際には、災害ボランティアセンターの設置・運営等、発災後の支援体制を構築することが求められており、平時から行政や様々な関係団体と連携しながら、迅速かつ円滑な支援が行えるよう、訓練や協議を重ねているところです。平時からそのような連携や地域のつながりを深めておくことこそ、災害に強いまちづくりの基盤になると考えています。

また、少子高齢化や家族のあり方の変化が

進む中で、高齢者世帯やおひとりさま世帯への支援も大きな課題であります。当社会福祉協議会では、ワンコイン支え愛サービスやよりよい隊等ボランティアによる生活支援や見守り活動の充実を図るとともに、住民の皆さま同士が自然に声をかけ合える居場所づくりや地域のサロンの充実を推進しています。生活に困窮された方への相談支援に加え、食を通じた様々な支援と人と人とのつながり構築を目指す、食のたすけあい支援事業も推進しているところです。

今後も、複雑化する福祉課題の解決に向けて、「だれもが安心して暮らせる安堵町」を目指し、住民の皆さまとともに歩む「地域福祉の推進役」として、本年も、地域に根ざした活動を一歩ずつ進めてまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして、穏やかで希望に満ちた年となりますよう心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

『赤い羽根共同募金』

ご協力ありがとうございました

令和7年度の10月1日～12月31日まで赤い羽根共同募金運動が展開されました。

例年通り、各大字や自治会等をはじめ、各公共施設、小・中学校、こども園、あくなみ苑、若草園、農協、郵便局、樺木、法隆寺自動車教習所に募金箱を設置させて頂き、ご協力をお願いしました。

ご協力いただきました町民の皆様をはじめ、募金活動にご協力をいただきました関係各位に深く感謝し、ご報告させていただきます。

集まった募金は、奈良県共同募金会に納付されたあと、安堵町に分配され、地域福祉活動の充実の為に活用させていただきます。

なお、募金総額につきましては次号でお知らせ致します。

★中間報告

431,389円
(令和7年11月末時点)



社会福祉事業運営基金にご寄付 ありがとうございました

令和7年9月29日～令和7年12月10日

【二円玉募金】

氏名(敬称略)	金額(円)
安寿会西安堵支部	5,633円
安寿会上窪田支部	6,715円
安寿会新法隆寺興人支部	10,000円

皆さまの善意をお待ちしております。

「防災・減災について考える② 災害ボランティアセンター設置・運営訓練」

令和7年11月29日(出) トーク安堵カルチャーセンターにおいて、安堵町社会福祉協議会と安堵町役場による「防災・減災について考える②災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を行いました。

訓練では、住民の皆さまに災害ボランティアセンターの体験を通じて災害ボランティアセンターの役割を知っていただくことと、様々な関係機関の皆様のご協力のもと、ネットワークの構築を目的とした訓練を行いました。



全国社会福祉協議会会長表彰
(社協・民間団体功労者)
桂木 正一氏

多年にわたり社会福祉の発展に功労のあつた方として表彰されました。

《令和7年度全国社会福祉大会》
令和7年11月12日(水)

～受賞おめでとうございます～

手話奉仕員養成講座(基礎課程)

令和7年4月7日より10月20日まで手話奉仕員養成講座を(24講座)開講いたしました。

7名の方が履修し、無事終了されました。



認知症かふえのご案内

認知症の方やその家族、地域の方々など、誰もが気軽に安心して集える場所として認知症かふえを開催しています。

介護や認知症についての情報提供や家族同士の交流も行えます。

認知症がある方もそうでない方もお茶を飲みながら楽しく一緒にお喋りしませんか？

オレンジかふえ

【日 時】第2木曜
午後2時～3時半
【場 所】あくなみ苑 3階
【参加費】100円

しゃべりばカフェ

【日 時】第4水曜
午後1時半～3時
【場 所】東安堵南集会所
【対 象】東安堵南地区在住の方



オレンジかふえ
あくなみ苑にて

しゃべりばカフェ
東安堵南集会所にて

〈お問い合わせ〉

安堵町地域包括支援センター
☎0743-57-2523

安堵町赤十字奉仕団だより

奉仕団の方々による募金活動により、集まりました募金は安堵町社会福祉協議会を通じて日本赤十字社奈良県支部へ義援金として届けられました。今後も皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

(令和7年台風第22号及び第23号災害義援金)

・第39回 安堵町文化祭にて 7,752円

(令和6年能登半島大雨災害義援金)

・防災減災を考える②イベント時にて

3,125円

・チャリティーカラオケ大会にて

66,349円

(大分市佐賀関の大規模火災義援金)

安堵町赤十字奉仕団は、能登半島地震などの災害で被災された方々の「募金活動」をはじめ、いざという時に役立つ講習会など、さまざまな活動を展開しています。

令和6年度より3年間、日本赤十字社奈良支部よりモデル奉仕団に選ばれ、皆さんの地域を回り防災講習会を展開してまいります。

(あつみ台) 9月28日開催

水消火器の体験・身近なものを使った応急手当・炊き出しの試食



3人乗り自転車を出します

〈対象者〉以下の条件をすべて満たす者

- ・安堵町に在住（住民登録）
- ・運転者が16歳以上
- ・1歳から6歳まで（小学校入学前）の幼児を2人以上養育中
- ・利用料無料（利用中の整備・修理等は利用者負担）



※電動自転車ではありません

〈利用期間〉

- ・1年間（1世帯に1台）※1年延長も可
- ※子供用ヘルメットも貸出します



移動炊飯器が配備されました
令和7年11月5日、日本赤十字社奈良県支部より安堵町社会福祉協議会に移動用炊飯器が配備されました。この移動用炊飯器は、災害時の被災者支援の一環として被災時に活用してまいります。

安堵こども食堂

安堵こども食堂は食事だけでなく、いろいろな体験も、こどもと大人が混ざり合い居場所づくりをしています。

10月末には幸せをほりおこすさつまいも堀をしました。大きなさつまいもにこどもも大人もびっくり!!

●11月3日にはフェスタを開催しました。

その中の一つとして10月末に収穫したさつまいもを使っておうすのたてだしとさつまいもまんじゅうを味わって頂きました。わなげは中学生・高校生が主になりお手伝いしてくれました。

●地域の方々の協力でバザー也大盛況!!

安堵町に本社を置かれる山崎実業株式会社様より沢山の日用品雑貨を頂きました。また、地域の皆様にもバザーの品をいただきありがとうございました。これからも安堵こども食堂が継続できる為、赤い羽根共同募金の奈良県ぴ〜すぺ〜すプロジェクトに参加し、2026年1月～3月の3か月間活動します。皆様のご協力ご支援よろしくお願い致します。

(お問い合わせ) 飯田 090-9879-0802



ワンコイン支援サポーター(有償ボランティア)募集中!!

募集要件

- ・年齢、性別は問いません。(若い世代の方も募集しています。)
- ・ボランティア活動を通じて、誰かの役に立ちたいとお考えの方。
- ・自分の空いた時間でボランティア活動にご興味のある方。

興味のある方は、お気軽に下記までお問い合わせください。



町の人口 (令和7年12月1日時点)

◆総人口 6,892人(高齢化率 37.1%)

●65歳以上人口 男 1,120人 女 1,437人 計2,557人

社会福祉協議会
地域包括支援センター

✉ anshakyo@snow.ocn.ne.jp
✉ andohoukatu@snow.ocn.ne.jp
電話 0743-57-2523